所属部門	素材・加工
研究分野	有機化学、合成化学

津田 良弘　教授
物質工学科
tsuda@fukui-nct.ac.jp

専門分野
触媒化学
キーワード
金属ポルフィリン錯体、金属サレン錯体、酸化触媒
所属学協会・研究会
日本化学会、触媒学会、電気化学会

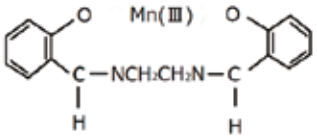
研究テーマ

【金属ポルフィリン錯体によるシトクロムP-450モデル反応に関する研究】

動物の肝臓中に存在する一酸素原子添加酵素（シトクロムP-450）の酵素活性を解明する目的で、Mnポルフィリン錯体を用いたモデル系により電子伝達系、酸素分子の酸素原子への開裂、軸配位子の役割など詳細に検討している。

【金属サレン錯体を触媒に用いた酸化反応の基礎研究】

有機配位子の設計が容易である金属サレン錯体を触媒に用いた有機化合物の酸化反応に関する基礎研究を行っている。



主要設備・得意とする技術

ガスクロマトグラフ、高速液体クロマトグラフ、ポテンシオスタット、ファンクションジェネレータ。
有機化合物の簡易分析及び電気化学的測定。

産官学連携や地域貢献の実績と提案

出前授業（液体窒素を用いた超低温の世界、スライム時計の作成）